



# GREEN LETTER

グリーンレター

**Vol. 231**

2015/012/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

GREEN COLUMN

01. 植物標本のお引越し
02. 寄贈美術資料展始まります



今月の一枚



**Photo**

## 「来年の干支（えと）です」

表紙写真・文／城坂結実

来年は申（さる）年。北海道の森にサルはいないよなあ…と思いつつ、キョロキョロしながら歩いていると、木の枝先にサルの顔を発見！これは、エゾニワトコの冬芽（とうがふゆめ）です。冬芽は冬に休眠する芽のことで、春になると葉や花になります。

冬芽は、樹の種類によって表情が変わるので、冬の森の見どころの一つ。みなさんも、色んな顔を探してみては！？

# Event. 今月のイベント

企画展「寄贈美術資料展」 12月6日(日)～1月17日(日)

ロビー展「手作り魚道と動物たち」 ～1月31日(日)

プチ工房「香る！モザイクキャンドル」 12月10日(木), 17日(木)

モノ作り講座「まつぼっくりツリーとどんぐりサンタ」 12月18日(金), 19(土)

# Information. 参加者募集

## プチ工房 「香る！モザイクキャンドル」

● 12/10(木), 17(木) 10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費 (150 円) ●城坂結実 (美幌博物館) ●申込み不要。小学校3年生以下は保護者の同伴が必要。

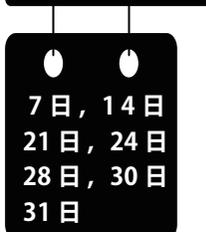
## モノ作り講座 「まつぼっくりツリーとどんぐりサンタ」

● 12/18(金), 19(土) 10:00 - 12:00 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費 (200 円) ●城坂結実 (美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み (12/1 - 12/17)。対象は幼児から一般, 小学校3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員 16 名で締切。

## モノ作り講座 「ジェルキャンドルを作ろう」

● 1/8(金), 9(土) 10:00 - 11:00 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費・保険代 (700 円), 軍手 ●城坂結実 (美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み (12/1 - 12/27)。対象は幼児から一般, 小学校3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員 16 名で締切。

## 今月の休館日



7日, 14日  
21日, 24日  
28日, 30日  
31日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

## 01 GREEN COLUMN グリーンコラム

# 植物標本のお引越し

写真・文／城坂結実



**み**なさんが日頃食べている、リンゴやモモはバラの仲間、トマトやピーマンはナスの仲間、というのは耳にしたことがあるでしょうか。ここで「仲間」とよんでいるのは、植物の分類でいうところの「科」にあたります。つまり、リンゴ・モモはバラ科、トマト・ピーマンはナス科です。

野菜だけでなく野生の植物も含めて、ありとあらゆる植物はこの「科」に分けられています。例えば、タンポポはキク科、シロツメクサはマメ科、というようにです。この「科」は、これまで植物（花や葉など）の見た目が似ているかどうかによって決められていました。

ところが最近、植物の見た目ではなく、遺伝子情報に基づいて「科」を分ける仕組みが浸透しはじめ、これまでになかった科ができたり、○○科だったものが△△科に変わったりしていま

す。新しい仕組みによると、アジサイはユキノシタ科からアジサイ科になり、スズランはユリ科からキジカクシ科になるそうです。単に「科」の名前が変わっただけの、些細なことのようにですが、これまで植物に親しんでこられた方には”ええっ！”と声を上げてしまう程の大きな出来事なのです。

さらに博物館にとってはより衝撃的な出来事で、それというのも、博物館に収められている植物標本はそれぞれが「科」の名前のついたラベルを持ち、「科」ごとに収納されています。「科」が変わればラベルも収納場所も変わり、「科」が増えれば収納場所も増やさなければいけません。

というわけで、美幌博物館も新しい仕組みにしたがうべく、植物標本はお引越しの真っ最中。約2,000点の標本たちの引越しは、春まで続きます。

## 02 GREEN COLUMN グリーンコラム

# 寄贈美術資料展 が始まります

写真・文／福田春美



1 2月6日より、毎年恒例の「寄贈美術資料展」が始まります。これは、美幌博物館が所蔵する美術作品の中から、直近の年度に寄贈いただいた作品を中心に展示作品を選定し、町の財産をご紹介します。

あまり知られていないことですが、美幌博物館は約2200点の美術作品を所蔵しています（平成27年11月現在）。これらはすべて作家ご本人やそのご家族、美幌にゆかりのある方などからの寄贈または寄託によるものです。点数の多さから、今まで一度も展示されていない作品も多く、今回が初お披露目となるものもあります。

より深く収蔵作品について知ってもらおうと、今回は展示の中にミニコーナーを設けました。日本には現在、数多くの美術団体が存在しますが、その中でも1930年創立の「独立美術協会」にスポットを当てています。この会を

舞台上に活躍した小島善太郎、鈴木亜夫、野口彌太郎らの作品をご覧くださいませ。

さて、先日の博物館講座（芸術編）では、「対話による美術鑑賞」を行いました。一つの作品につき鑑賞時間は30～40分。お互いの見方をじっくりと交流し合うことで、新たな気づきが生まれ、作品との距離が近づくのを感じることができました。

一人でも複数人でも、鑑賞を通して得られる体験は、日常生活に新鮮なひらめきを与えてくれることでしょう。冬の1日を、お気に入りの美術作品の前で過ごしてみませんか。

絵：横森政明「サロマ湖夕景（キムアネップキャンプ場にて）」1979年

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 ( 72 ) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

【お知らせ】

平成 27 年 12 月 30 日 (水) ~平成 28 年 1 月 6 日 (火)  
は年末年始のため休館しております。

また、グリーンレター 1 月号はお休みさせていただきます。  
来年も引き続き、グリーンレターをよろしくお  
願いいたします。

学芸員<sup>補</sup> のつぶやき



.....  
ときどき、一心不乱に料理を作りたくなります。  
昨晚のそれはきんぴらごぼうでした。気がつけ  
ば、大きなボウルに山のようなごぼうのさがきが  
が…。10代の頃は、デッサン用に毎日大量の鉛  
筆をカッターで削っていました。おかげで集中力  
もついたらど、ほどほどにしなければ！（福田）